

ロック・ストアハウス

東京都中央区日本橋小網町9-3
CANAL TOWER2F
TEL.03-3660-9559
<http://www.r-sh.co.jp>



岩倉誠彦 社長

合併時にシステム一本化する

日本初の「移行」専門企業

すべて成功の実績と標準化や

マニュアルで唯一無二の強み

記憶に新しい統合メガバンク誕生時のATMトラブル。一方、何も問題無くATMを稼働させた統合メガバンクもあった。この違いは、「移行」という作業の成否にどうも大きな理由が存在したようだ。「移行とは、企業同士が合併する際に別に別々のITシ

ステムを一本化する作業のこと。失敗したり、スムーズでなかったりしたら業務に影響するだけでなく、社会的信用も失墜する大事な業務です」と話すのはロック・ストアハウス株式会社（資本金1000万円）の岩倉誠彦社長。同社は、移行を専門にした日本初の企業だ。驚くのは、銀行や証券、保険など様々な業界で行った多数の移行業務をすべて成功させていること。これを評価され、NTTデータや日本コムシス、DTSなど有力なIT企業が受注した移行業務やM&Aの盛んな企業のシステム統合作業の強力なパートナーになっている。「こうした実績とそこから得たノウハウがあるからこそなのですが、移行業務を標準化していることも強みです。当社独自の移行マニュアルも作成しています」（岩倉社長）

ここまでは、同社のレベルに追い付きつつあるIT企業もあるという。だが、さらに同社では移行ツールというものもオリジナル開発している。このツールは、一本化への変換プログラム作成やテスト工程のスピードアップとコスト削減を可能にするもの。開発できたのは、これも圧倒的多数の実績があったからだ。なぜ、同社がここまでの存在になったのか。それは、岩倉具視の子孫でもある岩倉社長独自の歩みに理由がある。

勝機に気付きパイオニアに人材や新事業で上場目指す

「このビジネスの勝機にいち早く気付いたのが大きい。外国為替の取引を行う企業を相手にしたIT企業に勤めていましたが、そこで移行業務を任されて、気付いたのです」。時は1994年。相手がM&Aがすでに根付いているような外国系の企業だから、こうした仕事をいち早くできた。その後、様々な企業の移行業務に携わりニーズと時代の流れを確信。99年に同社を設立した。ちなみに、社名は

岩倉社長自身の名字をもじったものだ。

「IT業界では移行をやりたがる企業は多くない。失敗の影響が大きいというリスクがあるからです。失敗しないための経験があったので、移行専門企業のパイオニアに挑戦できました」（岩倉社長）

今後は社員も増やす同社。専門知識やマニュアルに頼らないための教育についても、岩倉社長は次のように話す。「言葉遣いやマナーなどサービス業の社員が受けるような研修を採用した。お客様のニーズを知るためには数多く会話できるコミュニケーション能力が必須だからです」移行分野で存在感を増すだけでなくニーズを捉え新事業も展開するという同社。上場も視野に入れている。（亀）

1 実績とマニュアル

顧客の要件から設計までの工程を過去の実績や同社独自のマニュアルによりスピーディー・低コストに

2 移行ツール

移行に用いるプログラム製造やテスト工程を同社独自の移行ツールを採用することによりスピーディー・低コストに

3 人材

移行に関するノウハウを持った人材を多く保有しているため、異例な特殊対応など、様々な顧客のニーズに総合的なサポートを

同社の強み